

# ITB Asia 2009

## Closing Report



ITB Asiaは、2008年にアジアで初開催された旅行業界のためのB2Bの見本市/会議です。国際的企業からアジア・パシフィックのトップ企業、そして中小企業にいたるまで、トラベル・バリューチェーンの様々な企業が、MICE、レジャー、ビジネス・トラベルの各マーケットからのバイヤーとビジネスを行う場です。

会場： サンテック・シンガポール国際会議場  
 会期： 2009年10月21日～23日  
 主催： メッセ・ベルリン・シンガポール社  
 後援： シンガポール政府観光局 (STB)  
 開催間隔： 毎年



### 第2回 ITB Asia

#### 厳しい経済状況にもかかわらず前年と同水準を堅持 次年度の成長を約束

2009年10月21日から23日にかけてシンガポールで開催されたITB Asiaには世界中から679社が出展しました。厳しい経済状況のもと、各企業が見本市に送り込んだ人員には若干の減少が見られたものの、出展者数は前年の651社に比べ増加となりました。

またホステッド・バイヤーは、前年の812人から553人の参加となりましたが、これは主催者のメッセ・ベルリン社が審査基準を厳しくし、バイヤーの質の向上を図ったことが理由です。

ITBアジアを後援しているシンガポール政府観光局 (STB) のビジネス・トラベル & MICEグループ次長 Melissa Ow 氏は次のように語っています：

世界的な経済回復の傾向を反映して、ITB Asiaは6,000人以上の来場者数と650社以上の出展者数を達成しました。前年と変わらぬ堅調な数字に満足しています。こうした好成績に裏打ちされ、ITB Asiaはアジア地域屈指のツーリズムの見本市としての地位を確立するとともに世界中の旅行関係者、専門家にその存在を強かにアピールしました。

[www.itb-asia.com](http://www.itb-asia.com)

ITB Asiaがアジア・パシフィックにおけるツーリズム業界の回復力を証明したことは、未だ回復途上にある世界経済をアジアが牽引する準備が整ったことを示しています。ITB Asiaは、シンガポールという開催地でアジア地域の旅行業界のさらなる発展を促すのに最適な機会を提供しています。

会期中に実施されたアンケートでは、トレードビジターの80.2%がITB Asiaに対してプラスの評価を与え、85.6%が同僚や関係者にこの見本市を薦めると回答、87.2%が次回もITB Asiaに来場するつもりである、と回答しています。また来場者の34%が、マーケティング部門に、32.8%が販売部門に所属しています。さらに来場者の91.6%が、社内で購入・仕入の決定権を持っています。

#### 会議/Web in Travel

ITB Asia 2009では、併催会議である「Web in Travel」とのパートナー関係を強化、ITB Asiaの参加者は、10月22日と23日のThe Web in Travel Ideas Labへの無料での参加が可能となりました。Web in Travelの前半の会議には、384名が参加しました。

#### 統計データ (2009)

展示面積	10,600㎡
出展者数	679社/60カ国
来場者数	6,149人

#### 日本からの出展

今回、日本政府観光局 (JNTO) とビジット・ジャパン・キャンペーン (VJC) がとりまとめる日本ブースの初出展となり、日本旅行、沖縄観光コンベンションビューロー、リーガロイヤル/オークラホテルグループなどが共同出展しました。またゴールデン・トライアングル (大阪市) も出展、ビジネス成果に大変満足との結果となりました。



**次回開催**  
2010年10月20日-22日

#### お問い合わせ先

メッセ・ベルリン日本代表部(担当 久保田)

〒102-0075 東京都千代田区三番町2-4 三番町KSビル  
 在日ドイツ商工会議所内

Tel:03-5276-8730 Fax:03-5276-8735

[info@messe-berlin.jp](mailto:info@messe-berlin.jp)